

このことについて、下記のとおり「麦作情報（第4号）」について送付しますので、業務の参考にして  
ください。

## 令和6年産麦作情報（第4号）

### 1. 気象の概要（3月5日～3月20日までの気象、平年と比較して）

- 平均気温…0.5℃高い。
- 降水量……少ない。（平年比 73.3%）
- 日照時間…多い。（平年比 127.1%）

### 2. 麦類の生育状況

農試情報田の調査結果（3月19日付け 麦づくり情報第4号）

品種	播種期 (月/日)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)	概況 (平年・平均と比較して)
シロガネコムギ	11/20	本年	62.1	613	9.1	41.6	<b>[気象]</b> 3月1日～3月18日まで ◆平均気温…平年より0.2℃高い ◆日照時間…長い(平年比131%) ◆降水量…少ない(平年比72%)  <b>[生育]</b> ◆草丈 12/8播種「シロガネコムギ」(以下、 ○/○シロガネコムギと略表記。他品 種についても同様の略表示)及び 12/1・12/8 はるか二条は高い。 11/20シロガネコムギ及び12/8サ チホゴールドはやや高い。12/1サ チホゴールドはやや低い。 ◆茎数 12/8サチホゴールド及び12/8 はるか二条はやや多い。12/1はるか 二条はやや少ない。11/20・12/8シ ロガネコムギ及び12/1サチホゴ ルドは少ない。 ◆葉齢 シロガネコムギ及びはるか二条の葉 の展開はやや進んでいる。サチホゴ ルドの展開は平年並み。 ◆葉色(SPAD値) 12/1はるか二条はやや高い。12/8 シロガネコムギと12/1サチホゴ ルド及び12/8はるか二条はやや低 い。12/8サチホゴールドは低い。 ◆生育ステージ(次頁参照) 11/20シロガネコムギは出穂始と なっている。大麦については止葉抽 出展開中である。
		平年	61.1	676	8.9	44.7	
		平年比(差)	102	91	+0.2	-3.1	
	12/8	本年	56.4	674	8.2	45.8	
		平年	46.0	688	8.0	46.8	
		平年比(差)	123	94	+0.2	-1.0	
サチホゴールド	12/1	本年	60.5	959	10.1	38.1	
		3ヵ年平均	62.1	1059	10.1	40.0	
		前年比(差)	98	91	±0	-1.9	
	12/8	本年	55.2	1082	9.0	35.2	
		平年	52.7	1035	8.9	41.4	
		平年比(差)	105	105	+0.1	-6.2	
はるか二条	12/1	本年	65.8	920	10.2	43.9	
		3ヵ年平均	58.7	952	9.9	42.7	
		前年比(差)	112	97	+0.3	+1.2	
	12/8	本年	59.9	904	9.2	42.6	
		6ヵ年平均	54.7	888	9.0	43.4	
		平年比(差)	110	102	+0.2	-0.8	

## 農試情報田の生育ステージ

品種	播種期 (月/日)	年次	幼穂形成始期 (月/日)	節間伸長開始期 (月/日)	茎立期 (月/日)	出穂期 (月/日)
シロガネコムギ	11/20	本年	1/26	2/11	2/13	未
		前年	1/29	2/16	2/18	3/27
		平年	2/2	2/19	2/19	3/29
	12/8	本年	2/14	2/20	2/24	未
		前年	2/20	3/7	3/8	4/2
		平年	2/22	3/4	3/7	4/6
サチホゴールデン	12/1	本年	1/29	2/16	2/20	未
		前年	2/11	2/24	3/4	3/30
		平年	2/8	2/25	3/4	3/28
	12/8	本年	2/2	2/20	2/20	未
		前年	2/12	2/28	3/9	4/3
		平年	2/12	3/2	3/4	4/2
はるか二条	12/1	本年	1/29	2/16	2/20	未
		前年	2/11	2/24	3/3	3/29
		平年	2/8	2/24	3/3	3/27
	12/8	本年	2/1	2/20	2/20	未
		前年	2/10	2/26	3/6	4/2
		平年	2/13	2/28	2/29	3/31

### ▼三神管内の調査結果（調査日：3/21 シロガネコムギ・はる風ふわり、3/22 はるか二条）

場所	品種名		播種日	苗立ち数 (本/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	主稈 葉数(L)	備考 (平年と比較して)
上峰	シロガネコムギ	本年	11/26	125	47.0	772	7.8	・ 平年の播種日は11/15～12/8 ・ 草丈はかなり高く、茎数は多い。 ・ 葉齢は進んでいる。
		平年	11/27	158	21.9	575	6.0	
		平年比(差)	-1	79	215	134	+1.8	
吉野ヶ里	はる風ふわり	本年	11/23	78	43.7	416	8.7	・ 平年の播種日は11/15～11/19 ・ 播種量が少なく、苗立数が少なかった。 ・ 草丈は高く、茎数は少ない。 ・ 葉齢は進んでいる。
		3ヶ年平均	11/17	131	29.5	923	7.8	
		平均比(差)	+6	59	148	45	+0.9	
鳥栖	はるか二条	本年	11/25	139	33.5	680	8.1	・ 平年の播種日は11/20～27 ・ 草丈は高く、茎数は少ない。 ・ 葉齢は進んでいる。
		4ヶ年平均	11/22	113	28.3	754	7.4	
		平均比(差)	+3	123	118	90	+0.8	

注1) 「シロガネコムギ」の平年値は、H25～H29及びR4～5の7ヶ年のうち、収量が最高値と最低値の年を除いた5ヶ年の平均。

注2) 「はる風ふわり」平年値は、調査を開始したR3年産から3ヶ年の平均値。

注3) 「はるか二条」平年値は、調査を開始したR2年産から5ヶ年の平均値。

## 概況

- 小麦、大麦とも生育は良好で、平年より生育は進んでおり、11月中旬に播種された小麦では出穂始めごろ、11月中下旬に播種された大麦では穂孕み期～出穂始めである。
- 本年は播種～1月の降水量は少なかったものの定期的に降雨があり、2月の降水量が多かったことから、肥料の流亡や湿害により葉色が薄い圃場が多く見られる。

〈農研機構：リアルタイムアメダスを用いた麦の発育ステージ予測（3月20日時点）〉

（参照：別添①小麦の出穂期予測）

○シロガネコムギ

11/20 播種： 出穂期 3月24日（平年比-13日）

11/30 播種： 出穂期 3月29日（平年比-12日）

○チクゴイズミ

11/20 播種： 出穂期 3月25日（平年比-12日）

11/30 播種： 出穂期 3月31日（平年比 -9日）

〈佐賀農試：出穂期推定プログラム（3月20日時点、以降の気温は平年値で試算）〉

○はる風ふわり

11/20 播種： 出穂期 3月23日

○はるか二条

11/25 播種： 出穂期 3月23日

12/10 播種： 出穂期 3月31日

※今後の気温によって出穂期は大きく変動するため、あくまで参考値とする。

## 3. 今後の管理

### 穂揃期追肥（実肥）（4月上旬頃～）

- 本年は1月以降の降水量が多いため、肥料の流亡により収量及びたんぱく質含有率の低下が懸念されることから、穂揃期追肥（実肥）を確実に施用する。

穂揃期：有効莖数の8～9割が出穂したころ

- 特に、パン用小麦（「さちかおり」「はる風ふわり」「ミナミノカオリ」）では、タンパク含有率はパンの膨らみ等に関わる重要な事項であるため、必ず施用する。
- 本年の出穂期は、平年に比べてかなり前進化すると予想されるため、遅れないように散布する。

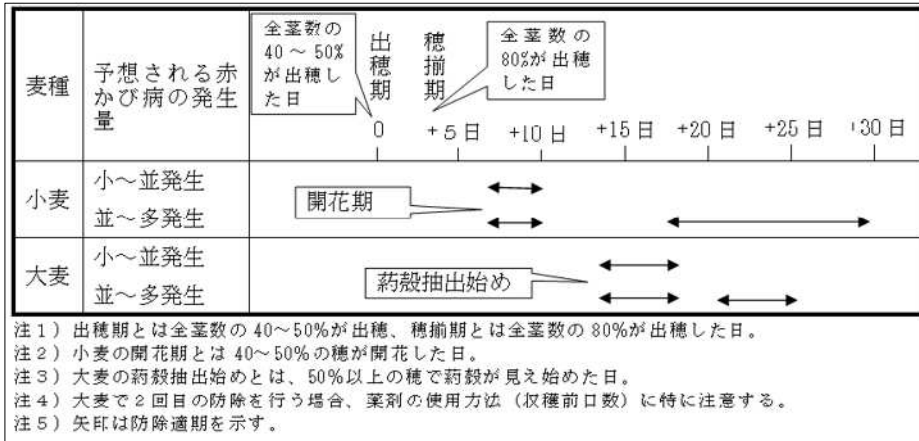
### 穂揃期追肥の施肥基準目安

品種	穂揃期追肥 kg/10a			
	硫安の場合		尿素の場合	
前作	水稻跡	大豆跡	水稻跡	大豆跡
さちかおり	30	30	13	13
はる風ふわり	25	25	12	12
ミナミノカオリ	20	20	10	10
チクゴイズミ	10	10	5	5
シロガネコムギ	10	10	5	5

※シロガネコムギは、葉色が薄い場合（出穂期頃のSPAD値が40以下）に施用する。

## 赤かび病防除

- 赤かび病感染適期は開花期～乳熟期で、高温多雨(20～27℃)で経過すると激発する。
- 赤かび病防除時期については本年の出穂期は平年に比べてかなり前進化すると予想されるため、防除適期を逃さぬよう早めの準備を行う。



大麦の薬殻抽出期



### 【大麦防除時期】

- 薬殻抽出始め(出穂の約2週間後)に防除。
- 多発生が予想される場合は2回実施(1回目防除7日後)。
- ※「はるか二条」「しらゆり二条」については2回防除をおこなう。
- トップジン M 水和剤を大麦等で使用する場合は、収穫30日前までの使用となっているので注意する。

### 【小麦防除時期】

- 開花期(出穂の約7～10日後頃)に防除。
- 多発生が予想される場合は2回実施(1回目の10～20日後)
- ※「さちかおり」「はる風ふわり」「ミナミノカオリ」については2回防除をおこなう。

## 網斑病防除(大麦のみ)

- 登熟に影響し減収・品質低下の原因となる為、上位葉で病斑の進展が確認される場合は、防除時期にチルト乳剤で防除する。
- 防除適期は出穂期(チルト乳剤は使用回数1回に留意)



FRACコード	薬剤名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本成分を含む農薬の総使用回数
3	チルト乳剤25	1,000倍	60～150L/10a	収穫21日前まで	1回
3	ワークアップフロアブル	2,000倍	60～150L/10a	収穫7日前まで	3回以内

病害虫防除のてびきに掲載している薬剤を掲載

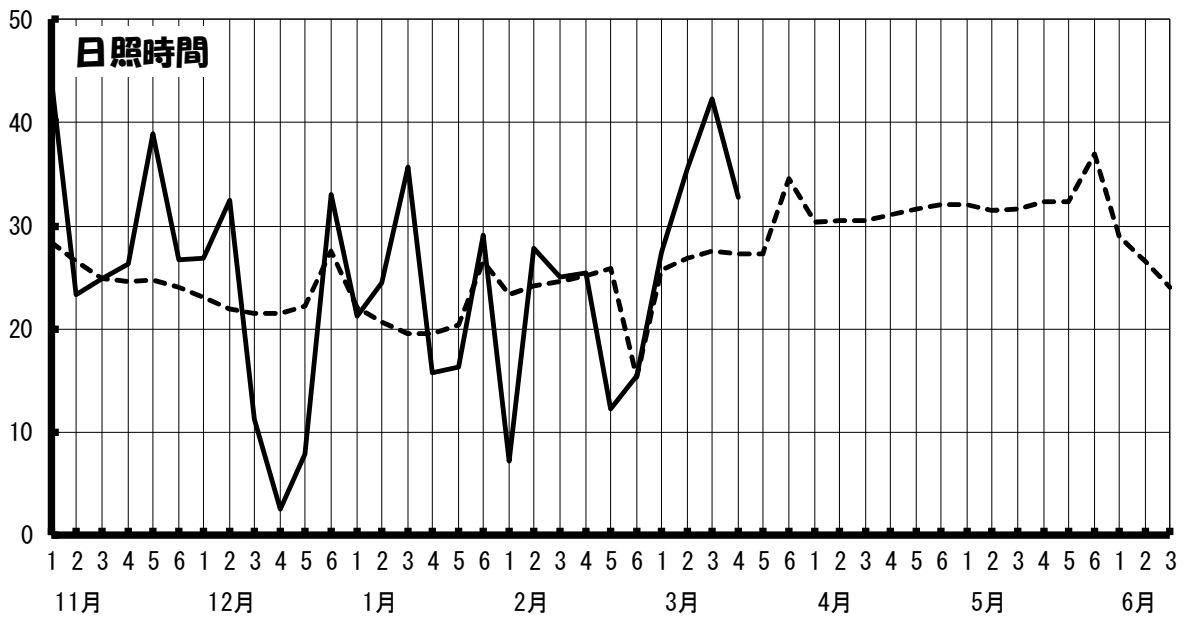
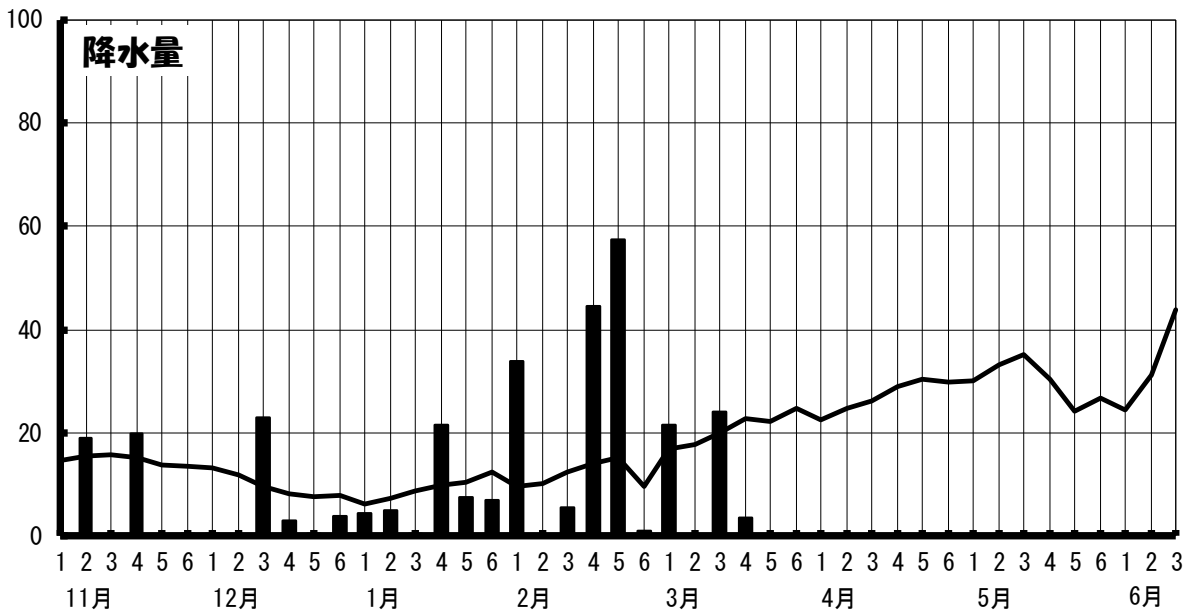
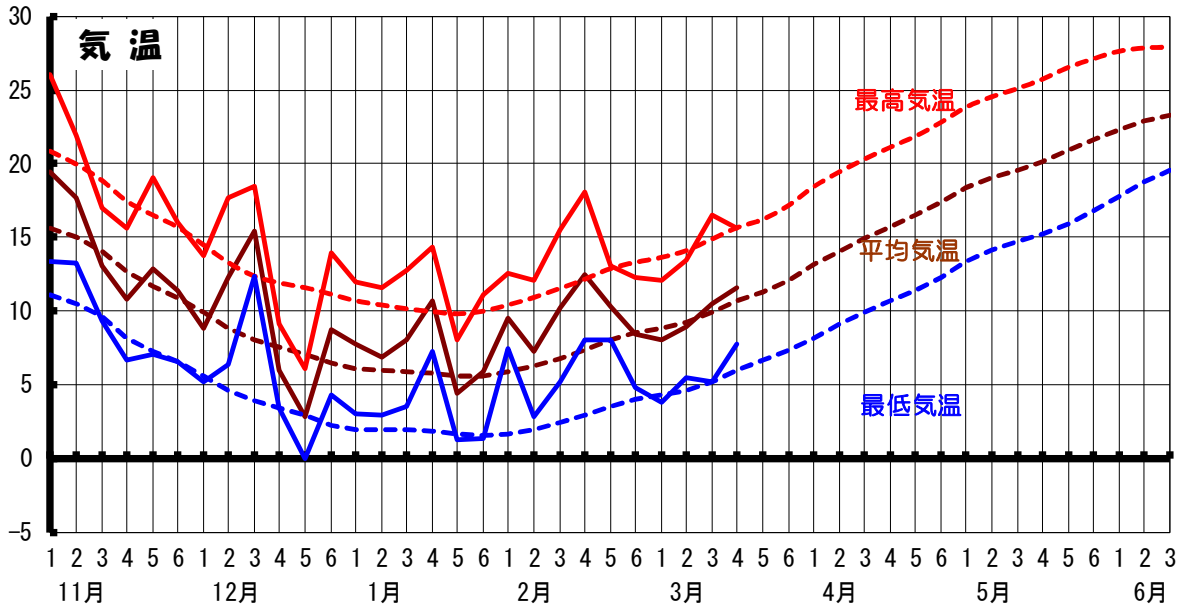
## 排水対策

- 本年は2月の降水量が多く、定期的に降雨があったことから、一部の圃場では畝間に水がたまり、湿害による茎葉の黄化がみられる。
- 今後の降雨に備え、土入れに加え、まくら地の排水溝を整備し、圃場内の水を早く排水できるように整えておく。
- 特に、トラクターカルチで土入れを実施する場合には、排水不良(うね溝の停滞水が多くなる)となりやすいので、うね溝と排水口とをつなぐように徹底する。

# R6年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

三神農業振興センター



グラフ中の点線は平年値